

ESSENCEチーム訪問事業実践報告会

～おおつき保育所の取り組み～

大月町立おおつき保育所 所長 西平 美香
次長 白石 邦子

～おおつき保育所の概要～

◎令和2年4月 町内3保育所を1園に統合

* 『大月町立おおつき保育所』として開所

- ・ 6ヶ月から受け入れ
- ・ 保育料 全園児無償化(大月町在住)
- ・ 1歳児から**ほぼ100%**に近い子どもが入所

* 令和4年度 園児数－88名 ESSENCE対象児数－23名

* 令和5年度 園児数・ESSENCE対象児数※(新規対象児数)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
園児数	6	21	8	19	14	11	79
ESSENCE対象児	0	6(6)	4(1)	4	6(1)	2	22(8)

ESSENCE訪問事業を受け入れるまで

★気になる子ども

- ・ 職員で話し合い(子どもの情報を共有)
- ・ 保健師に相談 → 情報交換
保護者面談・専門機関につなげる

保育所 ↔ 保健師

見立てに相違

- ・ 見立てが間違っていない?
- ・ この関わり方でいいの?

不安・悩み

令和4年4月...ESSENCE事業 概要説明を聞く

5月...ESSENCE事業開始

ESSENCE訪問事業を受けて

気になる子ども

・ 行動をどう理解すればいい?
・ 支援方法は?

ESSENCEチームによるアドバイス

その行動になった理由を考える

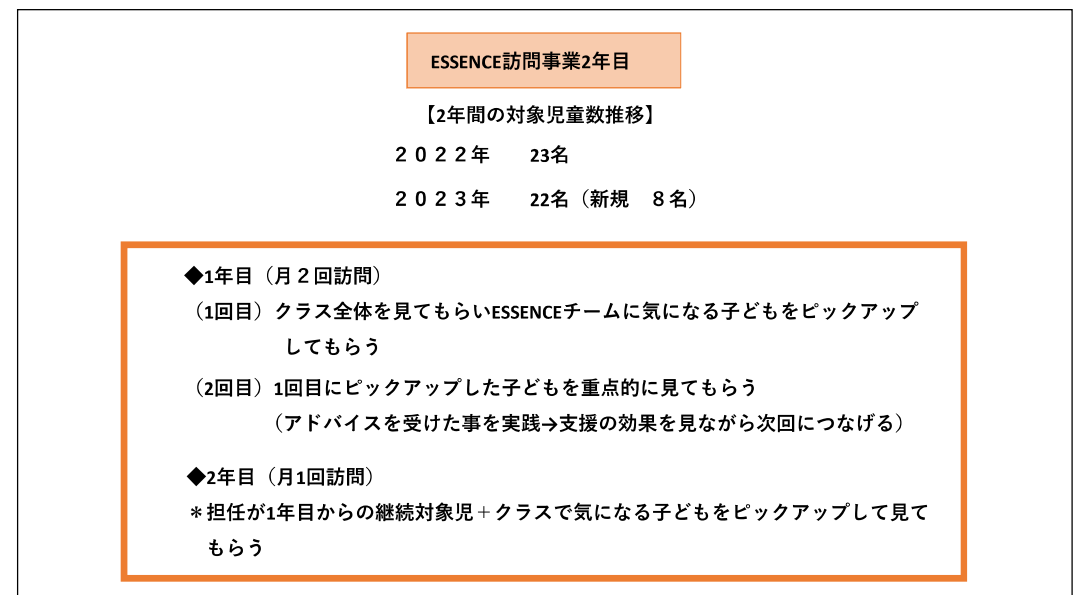
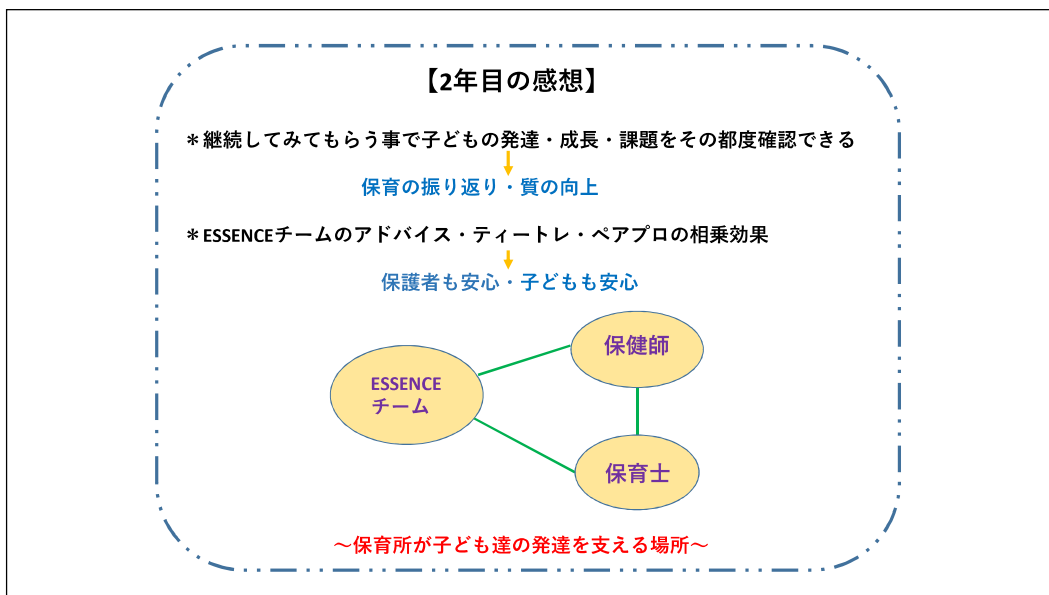
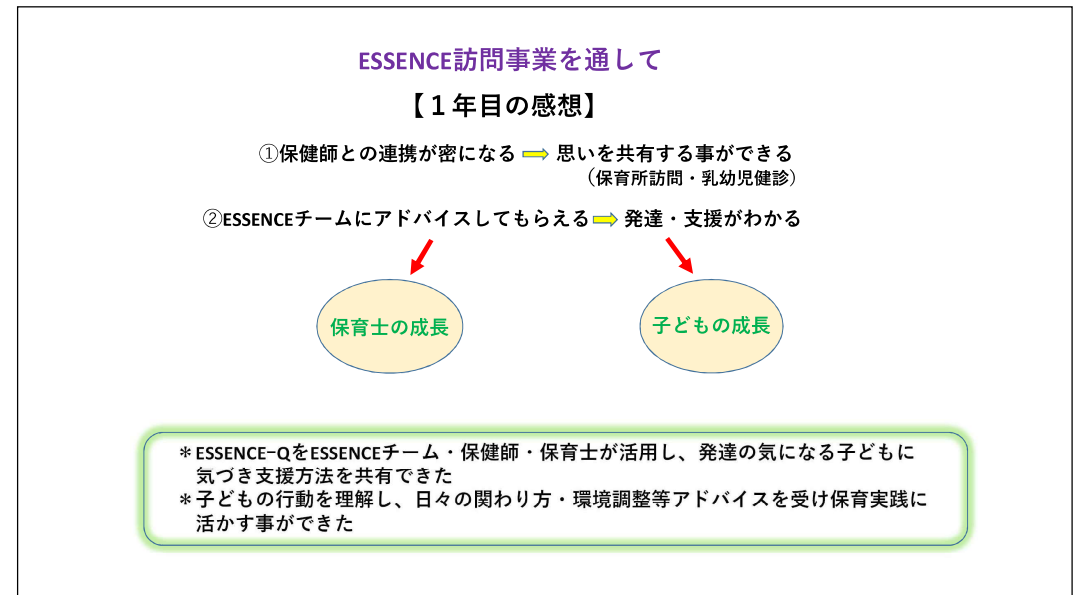
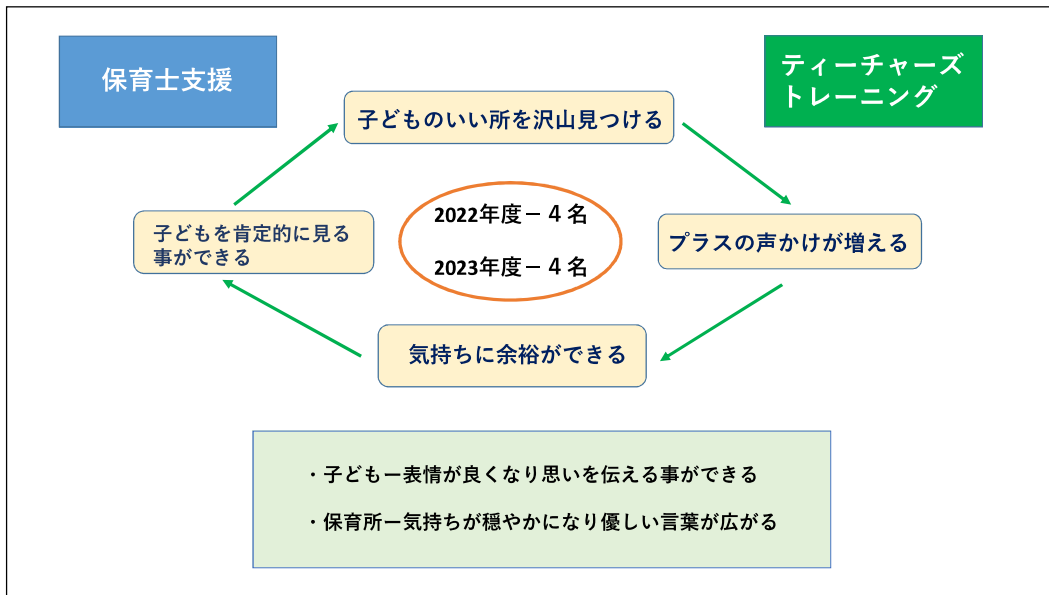
- ・ 子どもを理解
- ・ 適切な支援

より良い支援の方法がわかる

専門機関につなげる・園での継続支援

ESSENCEチームによる継続観察・支援方法の確認

子どもの成長を実感



取り組み内容

クラス担任より聞き取りした子どもの姿をカンファレンスで伝える
(新規の子どもの気になる姿・前回アドバイスを受けた支援の効果と子どもの現状)

↓
子どもの行動を観察 (午前中)

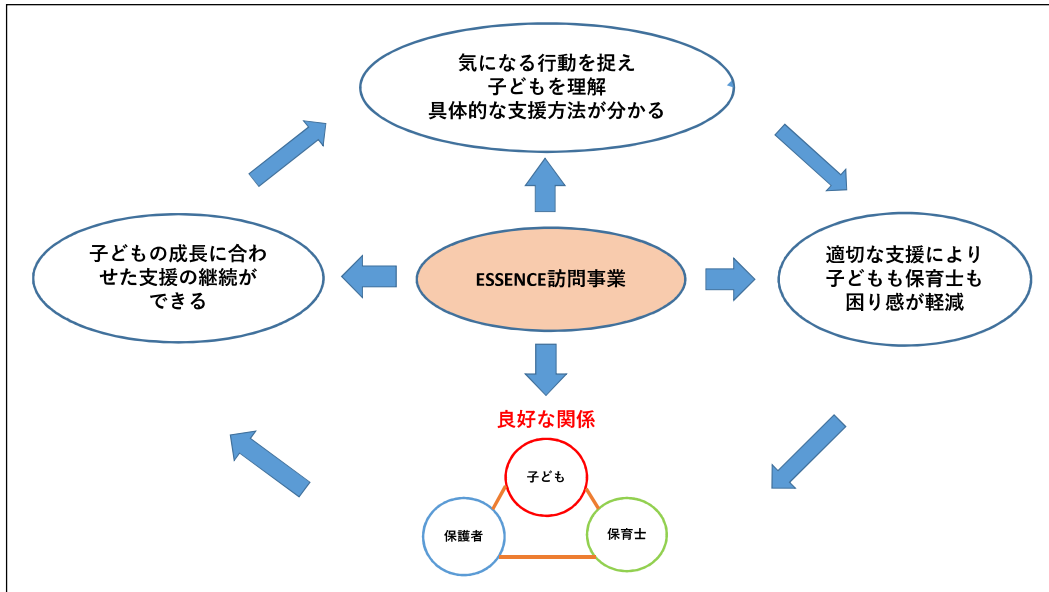
↓
ESSENCEチームによる効果の検証と具体的な支援へのアドバイス (午後)
(気になる子どもの発達を捉え困り感への対応を協議)

↓
カンファレンス参加職員で協議内容を確認

↓
アドバイスをもとに実践

感想

- * 思考錯誤しながらの保育だったが、関わり方や環境調整の仕方を具体的にアドバイスしてもらえたのが良かった。
- * 保護者に子どもの事を話さきっかけになり、療育に繋げる事ができた。又身体面の発達の所は専門外なので、発達を促す為に遊びの中でどのような動きを取り入れていったらよいか具体的な方法を知る事ができ保育に生かせ、子どもにも変化が見られた成果があった。
- * ESSENCEのアドバイスを意識して関わる事で、子どもの姿が変わっていくのを実感できた。
- * 事前の約束、褒めて終われる関わり注目を外す事を大切に事事で気持ちを切り替える姿が見られるようになった。
- * 注意でなく(危険な行動以外)注目を外す事で落ち着ける事が分かったり、行動を捉えるよう意識する事で褒めるポイントが分かって子どもも保育士も気持ち良い関係が築けている。
- * 一方で、園全体で統一した支援をしていく事の重要性にも気づいた。
- * 視覚支援や環境構成、指示の出し方など丁寧に教えてもらう事で、子どもが落ち着いて過ごせるようになってきた。
- * ティーチーズトレーニングと一緒に受ける事で、実践がスムーズにできた。
- * 大きな声で注意する事が減り、子どもの好ましい行動が増えてきた。
- * 気になる子どもについて、どうしてこのような行動になるのか、身体の特徴や支援の仕方など、今まで気づかなかった事を教えてもらい、スキルアップに繋がった。
- * 適切な支援をする事で、子どもが無理なく過ごせるようになった。
- * 保護者の子育てや発達の悩みなども、アドバイスをもらう事ができ、必要に応じて専門機関に繋げる事ができている



～職員間の共通理解を深めるために～

園内研修

★ ESSENCEのアドバイスをもとに クラス全体の支援

- ・ 視覚支援
- ・ 環境構成
- ・ 簡潔な指示
- ・ スケジュールや予告
- ・ 生活やあそびの決まりを伝えるなど

同じ関わりが
大切だね!

★ ティーチーズトレーニングの活用

★ 個別の対応関わりで 大切にしている事

- ・ 個別の視覚支援
- ・ 褒めて終わる関わりなど

・ 行動を捉える

- ・ ほめる
- ・ 注目を外すなど

★ 子どもの変化

トラブルが少なくなった・生活の流れがスムーズになった・指示を聞こうとするなど

ESSENCEやティーチーズトレーニングで学んだ関わり継続の必要性を共有

今後もESSENCEチームのサポートを受けながら

ESSENCE-Q
の活用

- ◆気になる姿をそのままにせず職員間で協議
- ◆支援内容の共有
- ◆保育所全体での共通理解
- ◆保護者との共有

一人一人を大切に 子どものために 適切な支援を継続していく
お互いを認め支え合う保育所

ご清聴ありがとうございました